

# た ま が わ

## ～ 地域別懇談会に参加して～

### みんなで語ろう、いまの思いを

12月13日の18時30分より東京地協主催の「地域別懇談会 in 立川」が立川駅北口にある三多摩労働会館にて開催され、西東京分会からは4名が参加しました。

東京地協小林議長の司会で進められ、まずはじめに本部佐藤副委員長が損保業界全体に起きている問題を提起されました。

続いて6支部16名の参加組合員全員が各職場で生じている問題や日頃から不安に感じていることなどを発言して意見交換を行いました。

終了予定時刻を過ぎても活発な発言が続き、大変有意義な時間を多摩地区に働く全損保の仲間と共有できたことは西東京分会にとって大きなプラスとなりました。

発言内容をいくつか紹介します。

#### (営業職)

- ・人員不足による業務過多により職場の雰囲気が悪くなっている。
- ・キャンペーン期間を過ぎても目標値をクリアするまでノルマ営業が続いている。

#### (システム)

- ・システム統合の作業を進めてきたが、いきなり方針変更され今まで積み上げてきたものがゼロになってしまった。
- ・保険の内容改定が頻繁に行われ、作業を覚えた頃に変更される。
- ・常時人員不足。繁忙期にはアルバイトを雇うが、作業を教えるために時間がとられる。

#### (損害サービス)

- ・示談代行付の案件は全て自動車損害課で対応している。水漏れでも火新は対応しない。

#### (外勤直販)

- ・年中、ベタ付キャンペーンで、一時的に3本のキャンペーンが同時に走ることもある。
- ・新人が増えず、育たず、組織が高齢化している。制度がいつまでもつのか心配。

(全体的)

- ・仙台へ支援に行った際、損保の社会的責任を感じた。
- ・自分の職場で起きている問題点が他の会社や海外でも起きている。
- ・定年再雇用者が希望の職種に就けない。
- ・一般職が総合職の業務へシフトされ、総合職は海外事業や他社出向の傾向にある。
- ・早帰りを強要される分、早出が増えている。
- ・収益改善、コスト削減と契約者不在の会社施策に疑問を感じる。